

## 「子どもの未来」を築く「未来創造塾」

十勝管内 社団法人帯広青年会議所(中学校32校)

### ■取組の特色

#### ◆青年会議所による青少年の社会学習・生涯学習事業の一環としての取組

○社団法人帯広青年会議所では、明るく豊かな社会を創るために、青少年の社会学習・生涯学習事業の一環として、「子どもの未来」を築く「未来創造塾」事業の企画運営を行った。

#### ◆様々な職種の「仕事の話」を聞く場の提供

○子どもたちに、受験や進学がゴールではなく、働き、そして人生のやりがいを見付けることが大切であることなどを伝えるために、様々な職種の方から「仕事の話」を聞く場を提供した。

### ■実践例

#### ◆青年会議所による青少年の社会学習・生涯学習事業の一環としての取組

##### 取組の背景

十勝の将来を担っていく子どもたちが、働くことの大切さを実感し、働く人への感謝の心をもつことができるようにするために、青年会議所の活動として「自分の経験を生かし、『働くということ』を伝える」という取組を行った。

特に、十勝には様々な産業があり、志を高く職業を営んでいる多くの人たちからたくさんの「仕事の話」を聞く場を設け、「仕事について興味をもったり、働く意味を考えたり」する機会を作ることができるネットワークを生かし、「未来創造塾」を開催した。

##### 【未来創造塾 コンセプト】

- ・中学生が、外部講師から職業にかかわる「出前授業」を聞いて、仕事を考えるきっかけとなり、今までと違った観点から将来の職業を選択することができるようにする。
- ・中学生が、仕事が担っている社会的な役割を理解することによって、身近な職業の意味を振り返って考えたり、感謝の心を育んだりする機会とする。

##### 関係機関との連携

実施に当たって、帯広市教育委員会と連携の上、立地や教室数を考慮し、帯広市立緑園中学校を会場とした。

初めての事業であったので、十勝教育局に相談し、各市町村校長会と連携の上、各中学校への周知を行った。

##### 生徒の興味・関心を把握する事前アンケートの実施

生徒がどのような職業に興味・関心をもっているかを把握し、講師選定の際の参考にするため、申込書にアンケートを添えて40種の職業を提示し、参加を希望する生徒から1人につき4つの希望する職業を選んでもらうこととした。

##### 「未来創造塾」の実施

「未来創造塾」は生徒が参加しやすいよう、夏季休業中である7月29日(日)に実施した。事前のアンケートで希望をとった職業から上位18種類の職種の方を講師に招き、生徒1人につき、3種類の職業について話を聞くことができるようスケジュールを立てた。



【未来創造塾チラシ】



【受講する中学生の様子】

##### ■未来創造塾スケジュール■

項目	講師
開講式	
1時間目	パティシエ、動物園飼育員、美容師、警察官、アナウンサー、フラワーデザイナー
2時間目	政治家、歯科医、医師・看護師、パン職人、シェフ、公務員
3時間目	薬剤師、ホテルマン、新聞記者、農業者、幼稚園教諭、弁護士
講演	スペシャル先生 香田蒼士史先生
閉校式	

## ◆様々な職種に携わる方から「仕事の話」を聞く

### 講師の話から

#### ☆フラワーデザイナー☆

花を買うのはどんな時か考えて下さい。幼稚園の子どもが小遣いを握りしめ、花屋に行き、もしお金が足りなくて買えなかったらどんな気持ちになりますか。

お店の従業員には、その時はその額で売って下さいと伝えています。それが亡くなった父の教えです。

#### ☆アナウンサー☆

アナウンサーと呼ばれる人は、道内の放送局に117名います。こんなにいると自分でもなれると思いませんか？

アナウンサーは記者が一生懸命に取材をして書いてくれた記事を決められた時間の中でテレビやラジオで正しく伝える。アナウンサーが原稿を全部言えなければ、みんなの仕事が伝えられないし、仕事をしたことにならないのです。

#### ☆美容師☆

ぼくは、ちょっと負けず嫌いです。しかし、美容師という仕事はライバル店もあり、競争も激しいのです。そんな困難を乗り越える気持ちも大切です。

#### ☆パティシエ☆

皆さんはケーキをどんな時に食べますか？晴れの日であったり、笑顔がたくさんある時にケーキが皆さんの前に出ているのではないのでしょうか。

また、おいしいイチゴが採れたらそれで「いちごタルト」を作る。地元の生産者の人たちと一緒にお菓子を作る。お客様は最後に出されたデザートで気持ちよくお店を後にします。

パティシエにはそんな役割があると私は考えています。

#### ☆政治家☆

道路や橋の建設だけでなく、教育についてなど、生活にかかわることはたくさんあります。それはどうやって決まっていますか？誰が決めていますか？

それらに大きく関わっているのが政治家です。

#### ☆ホテルマン☆

お客様に喜んでもらうために、キャストとしてチームで仕事をしています。そのような仕事をするためには洞察力が必要です。

お客様一人一人に対して、今、この方はどのようなことを思っているのか、お客様がどんなことを求めているのかを感じる力が大切になります。

### スペシャル先生

「目標とやる気の行方」という講演テーマで、元駒澤大学附属苫小牧高等学校野球部監督の香田先生から講話を行った。

到達することは終了ではなく、その後のことも考えていく力を付けていくことの大切さについて教えていただいた。



#### 【生徒の感想】

- ・アナウンサーからのお話では、生中継などと言わなければならないことを時間内に考えて言う「時間を管理する」ことの大切さを学んだ。
- ・自分が希望する以外の職業についても話を聞くことができ、それぞれの職業の方が仕事に誇りをもっていることを感じた。

#### 【事業の評価】

- ・子どもたちが地域には様々な職業が存在することを知り、今よりも多くの選択肢をもたせることができた。また、なぜその仕事が地域に必要なのかを伝えることにより、仕事本来の役割を理解し、将来の職業を選択する上で明確な目標設定をすることにつながったと考える。

### 取組の成果

- 生徒が自分の希望する職種の講座を受講できるように40職種の準備を行い、生徒の希望に基づき、実際には18職種の「仕事の話」を聞く場を設定することができた。
- 社会法人帯広青年会議所が行った生徒アンケートによると「またこのような授業があったら参加したいですか」の問いに参加者の61.2パーセントの生徒が参加したいと回答するなど、「仕事の話」を聞くことへの意欲の高まりが見られた。

## 地域の教育力を最大限に活用したキャリア教育の推進事業 十勝管内 本別町キャリア教育推進事業（中学校3校、高等学校1校）

### ■取組の特色

#### ◆進路選択、決定できる能力や基礎的・汎用的能力を育てるキャリア教育の推進

○本別町教育委員会では、生徒一人一人に主体的に自己の進路を選択・決定できる能力や、よりよい基礎的・汎用的能力を育てるため、地域の教育力を最大限に活用した職場体験活動の充実を図る事業を推進した。

#### ◆様々な職種の体験が可能な職業体験活動の受入れ先の整備

○生徒の希望も踏まえ、様々な職種の職業体験ができるよう、商工会と連携し、飲食業や販売業、サービス業などの職場体験活動の場の提供に努めた。

### ■実践例

#### ◆本別町キャリア教育推進事業の実施

〔趣 旨〕

地域の教育力を最大限に活用した職場体験等の活動と  
おとして、生徒一人一人が主体的に自己の進路を選択、  
決定できる能力や基礎的・汎用的能力を育てる。

〔実施方法〕

職場体験は、原則として3日以上、または、それに相  
当する時間（15時間）以上行う。

〔実施の経緯〕

- ・平成17年度に国のキャリア教育実践プロジェクトの指  
定を受け、各中学校は総合的な学習の時間を活用し、事前事後学習を含め5日間の職場体験  
を実施した。
- ・その後、キャリア教育実践プロジェクトの成果を受け、各学校からの事業継続の要望に基づ  
き、平成18年度に本別町として予算化を図り、本別高等学校とも連携して、全町規模のキャ  
リア教育推進のために本事業を立ち上げた。
- ・平成18年度の事業立ち上げの段階で、学校や企業等の要望と、生徒への教育的効果を踏まえ、  
職場体験の日数を3日間以上と設定した。



【スーパーでの食品づくり体験】

#### ◆職業体験活動の受入れ先の整備

①～教育委員会は、各学校のこれまでの職場体験活動の  
実績をもとに、商工会を通じて各職場の受け入れ可  
能な内容について、整備を依頼した。

②～事業所等は、「具体的な職場体験内容」や「対応人  
数」「対応時間」等を検討し、商工会に報告した。

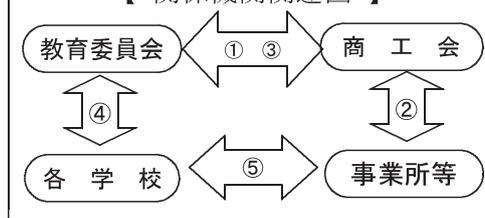
③～商工会は、受入れ可能先企業をリストアップし、教  
育委員会に情報提供した。

④～教育委員会は、受入れ可能企業名一覧を作成し、学校へ情報提供した。

また、事業の実施に当たり、体験活動に使う物品や参考図書、案内送付用の郵券、打合せに  
伴う旅費、講師謝礼金等の奨励金を交付し、本事業の推進に当たった。

⑤～学校は、「受入れ可能先企業リスト」により、生徒の希望に応じて事業所に職場体験を依頼  
した。依頼内容は、生徒の実態や学校のキャリア教育のねらいを踏まえて、「礼儀作法の指  
導」や「可能な限り実際の体験」等の学校側からの要望等を打合せの段階で伝えた。

【関係機関関連図】



取組の成果

- 生徒の希望する職業を選択できるように、様々な職種の受入れ先を整備することができた。（8職種48事業所）
- 全国学力・学習状況調査生徒質問紙調査によると、本別町の中学校において、「将来の夢や目標をもっている」と回答した生徒の割合は、平成22年度45.2%だったが、平成23年度には50.7%であり、将来の職業選択への意欲が高まっている。

## 中高6年間の一貫したSTCプログラム

オホーツク管内 湧別町立上湧別中学校、湧別中学校、湖陵中学校、北海道湧別高等学校

### ■取組の特色

#### ◆中高一貫教育推進委員会の設置

○湧別地区では、町内の1高校「湧別高校」と3中学校「上湧別中学校」「湧別中学校」「湖陵中学校」の全ての教員を構成メンバーとする「中高一貫教育推進委員会」を設置し、「湧別地区中高一貫教育」を推進している。

#### ◆STCプログラムの推進

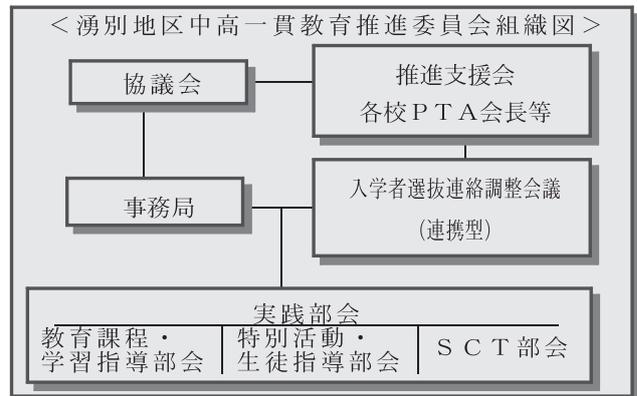
○湧別地区では、生徒が社会に有意な人材として成長し、生きる力を身に付けることを目的として、中高6年間を見通したキャリア教育プログラム「STC（スクール・トゥ・キャリア）」を推進している。

### ■実践例

#### ◆中高一貫教育推進委員会の設置

湧別地区では、生徒一人一人が個性を伸ばし、可能性を広げ、地域を担う人材に育つよう、中学校から高校までの6年間を見通した中高一貫教育を行っている。

町内の1高校と3中学校の全ての教員で構成する「中高一貫教育推進委員会」を設置し、4月には全ての教員が一堂に会し、年度の重点や各教科や特別活動における中高連携の進め方について協議している。また、中高6年間を見通した全教科・全学年分のシラバスを作成・活用するとともに、教科や地域に関する学習を発達の段階に応じて学ぶことができるよう学習内容の協議を行っている。



#### ◆STCプログラムの推進

中高6年間を見通した進路指導の充実を図るため、STCプログラム（以下、STCという。）を推進している。

STCとは、「スクール・トゥ・キャリア」の略称で、生徒が社会に有意な人材として成長し、生きる力を身に付けることを目的とした6年間を見通したキャリア教育プログラムである。STCでは身に付けたい力として、①自他理解能力（人間関係形成能力）、②情報活用能力、③将来設計能力、④意志決定能力、⑤コミュニケーション能力の五つの能力を設定している。

STCでは、様々な職業について学ぶことを目的とした講演会や高校生によるライフスピーチの開催、職場体験実習及び成果発表会、中高6年間を見通した進路指導に関するシラバスの作成等を行っている。

例えば、町内3中学校の1年生を対象とした博物館の学芸員を講師とした講演会では、「なぜ、学芸員になろうと思ったのか」「どのようにして学芸員の職業に就いたのか」など、職業選択にかかわる話題を取り上げたことにより、生徒からは、「講演を通して、中学校3年間の中で体験したことが職業選択に関わっていることがわかり、改めて中学校3年間を大切に過ごそうと思った。」「勉強の大切さや将来のことを考える大切さがよくわかった。」などの感想があった。



### 取組の成果

- 6年間を見通した教科シラバスを作成したことにより、中高6年間を見通した系統的な指導の充実を図ることができた。
- 中学校と高等学校の教員が定期的に意見交換することにより、生徒の実態を共有することができ、STCの成果と課題を把握することができた。
- 異校種や他校の生徒との交流により、自他理解を図ることができた。
- 職業に関する講演会を実施したことにより、夢や希望の実現に向けた取組の大切さについて理解を図ることができた。
- 6年間の進路シラバスを作成したことにより、発達の段階に応じたキャリア教育の充実を図ることができた。